

### 3 . 地域的景観形成の取組み

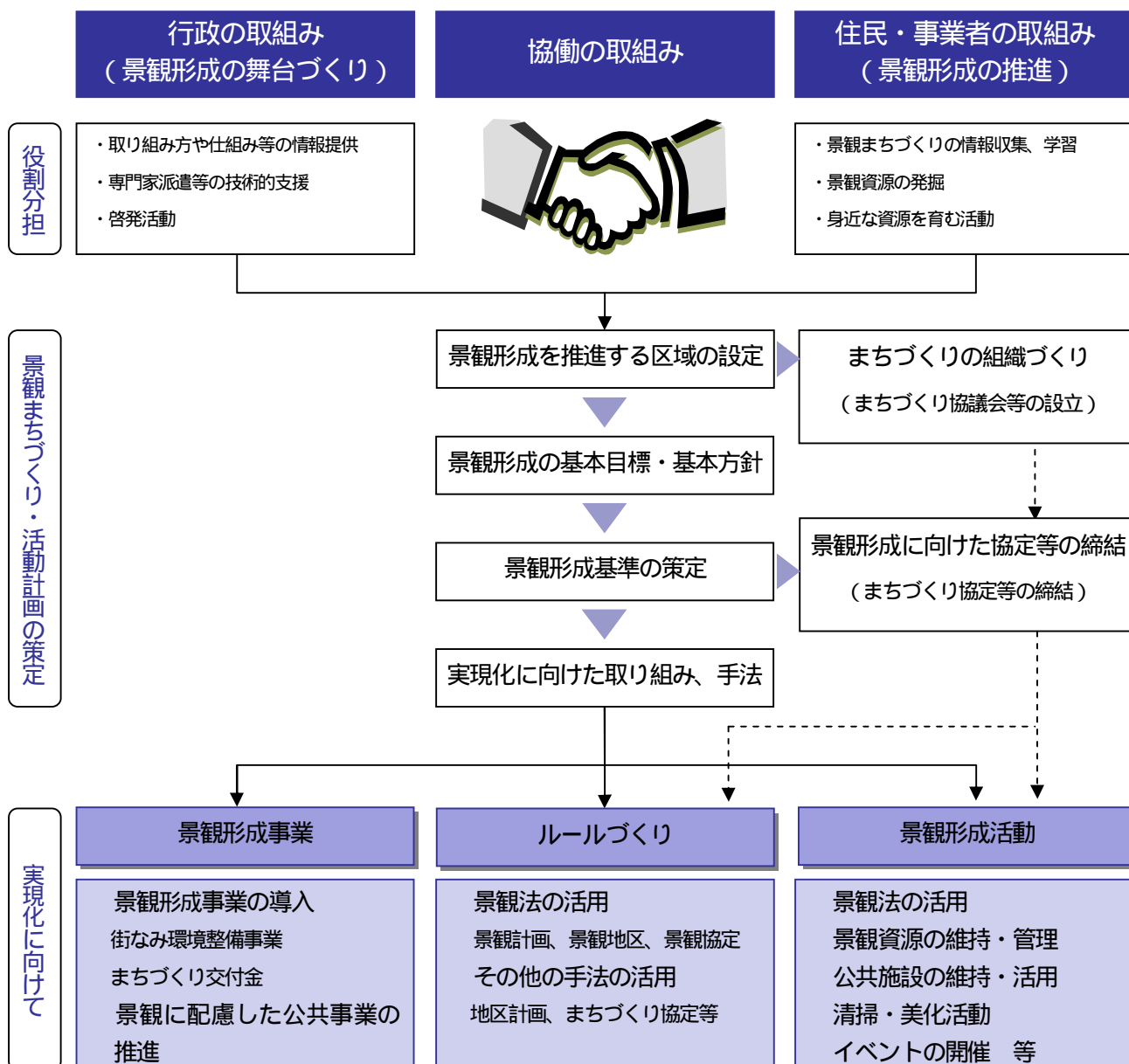
#### ( 1 ) 地域的景観形成の取組み

多様な個性を持つそれぞれの地域において、地域住民主体のもと、特徴ある景観資源を守り、育て、生活の中に活かすことで、市民がいきいきと暮らせる景観まちづくりを推進していく必要があります。

このため、行政は、景観形成の舞台づくりとして、地域住民による景観まちづくりへの自主的な取組みができるよう、地域住民・事業者の景観に関する意識の向上や学習活動、取組みへのきっかけづくり、情報提供等の支援を実施するとともに、地域の景観まちづくりにとって効果的な景観形成事業を推進します。

このように、住民・事業者による景観形成活動、景観形成事業の推進、景観形成に向けたルールづくりなど適切な役割分担と協働により景観まちづくりの実現化を図ります。

図3 - 2 地域的景観形成の取組み



## (2) モデル地区における先導的な景観形成への取組み

左記の取組みを総合的に推進し、他地域のモデルとなる良好な景観形成を図るため、モデル地区を設定し、ルールづくりや景観整備など先行的に景観形成の取組みを進めます。

モデル地区については、以下のような地区から選定します。

良好な景観形成が進んでいること、良好な景観資源が存在することなど、全市的なモデルとなる良好な景観形成の可能性が高い地区  
 既に景観形成に関する規制・誘導策が講じられており、積極的な展開を図ることによって効果が期待できる地区  
 住民主体の景観保全・形成の活動が展開されており、これらの活動を支援することによって先導的な景観づくりの効果が期待される地区

モデル的に地域的景観形成に取り組む地区は次のとおりとします。

地区名称	地区の特徴・課題	備考
庭瀬・撫川地区	水郷や歴史的街並みの他、2つの城跡を中心に豊富な歴史資源が存在しており、庭瀬往来の歴史的景観と水路景観を主体とした魅力ある景観まちづくりを行う。	まちづくり交付金事業(街なみ環境整備事業)
西大寺観音院周辺地区	港町、門前町の歴史性を偲ばせる街並みの再生や、周辺の歴史的資源との一体的な景観形成を行い、中心市街地の活性化につながる魅力ある景観まちづくりを行う。	〃
出石町地区	歴史的街並みと旭川・岡山城・後楽園といった景観資源との一体的な景観形成を行い、賑わい創出につながる魅力ある景観まちづくりを行う。	〃

### 農村部における景観形成の取組み(ケーススタディ)

地区名称	地区の特徴・課題	備考
造山古墳周辺地区	吉備路地域を代表する造山古墳を中心とした、素朴で叙情的な美しい景観が形成されており、背景の山並みや田園風景を一体としてとらえた、総合的な景観の保全・形成を行なう。	

### 【地区の魅力】

庭瀬・撫川2つの城跡を中心に、12の社寺や遺構など歴史的資源が豊富に集積している。  
古くから物資交易のための要港であった旧庭瀬港（内港）の存在や、地区内に張り巡らされた水路網により、水郷のまちとしての街並みを特徴づけている。  
庭瀬往来沿道には伝統的な町家が建ち並ぶなど、歴史的な街並み景観がよく維持されている。  
旧屋敷町は、緑豊かで戸建て住宅を主とした閑静な住宅地景観が形成されている。

### 【地区の課題】

蓄積された歴史的資源と周辺環境の一体的な景観形成を図ることが必要である。  
地区の歴史を継承し町を特徴づける水路景観の整備が必要である。  
歴史的街並み景観を継承していくことが必要である。

### 【まちづくりの経緯・取組み】

地元市民による堀や水路の清掃活動のほか、まちかど博物館や大賀ハスを観る会などのまちづくり活動も盛んに行なわれており、良好な地域コミュニティが形成されている。  
地区における景観整備に関する事業として、水路沿い道路整備（石護岸、サクラ等植栽）、撫川城跡入口周辺整備、庭瀬城跡石垣修復等が実施されてきた。  
住民主体によるまちづくりの取組みに向けて、町内会役員、撫川・庭瀬城跡周辺整備推進協議会、老人クラブ、婦人会等による『まちづくり協議会』を平成16年に設立している。  
平成17年度より街なみ環境整備事業による地区施設等の整備、住宅の修景整備に取り組むこととしており、同事業に併せ下水道整備も予定している。

### 【景観形成の目標と基本方向】

「テーマ：陣屋町の歴史と文化を活かしたまちづくり」

庭瀬・撫川城跡や伝統的町家をはじめとした歴史的資源を守り育てるとともに、水郷・水路の保全や水環境の改善に努めるなど、歴史と文化を継承し生活に根付いた景観づくりを目指す。また、豊富な景観資源を有機的に結びつけるため、景観に配慮した公共施設整備を効果的に実施する。

庭瀬・撫川城跡を拠点とした歴史的地区としてのイメージを強化する。

身近な親水空間としての堀・水路の保全・修景を行う。

歴史性を基調とした魅力ある街並み景観を形成する。

落ち着いたある住宅地景観を維持・保全する。

### 【地区の魅力となる景観資源】



庭瀬城跡



撫川城跡



庭瀬往来の歴史的な街並み

## 【景観形成の取組み】

<対象区域全体> …「まちづくり憲章」

<庭瀬往来沿道区域>…「まちづくり協定」

- ・階数は原則2階建て ・建具の色は茶系統 ・勾配屋根、和瓦葺きもしくは同程度の仕上げ
- ・建築物の外壁は和風的な色調や素材とする ・道路に面する玄関は引戸・引き違い戸を原則
- ・屋外工作物の目隠し ・空地等については門、塀、生垣等の設置による街なみの連続性確保

住民・事業者

行政

<景観形成に係る活動>

- ・美化活動、清掃活動の継続
- ・景観資源等の維持・管理
- ・まちづくり協定の遵守
- ・環境学習やまちかど博物館等のイベント開催によるまちづくり活動の実施

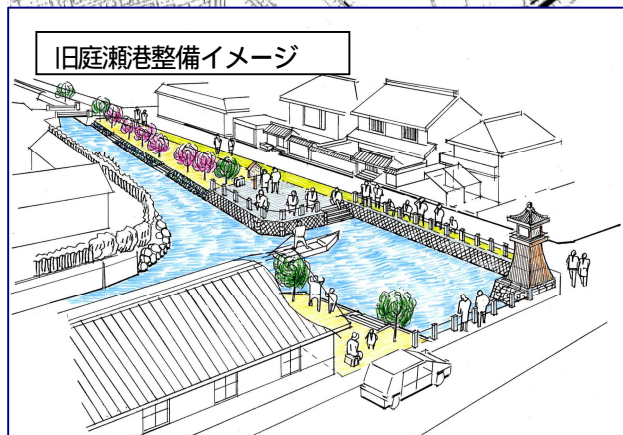
<景観形成の事業>

- ・公共施設修景整備  
旧庭瀬港及び常夜灯の復元、道路美化、橋高欄修景、旧牢屋川修景、視点場・道路植栽・サイン整備、撫川城跡整備等
- ・伝統的建造物等に対する修景助成

## 【持続発展的な景観形成】

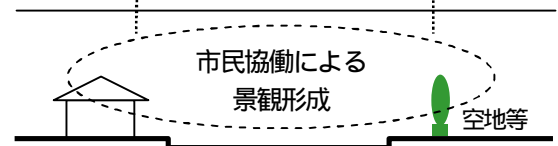
- <景観法の活用> 景観計画による実効性ある景観形成の推進、景観法に基づく制度・施策の展開
- <その他の制度の活用> これまで市が行ってきた地区計画などの制度の活用

図 区域別景観形成の方針



<市民協働による空間整備>

私有空間      公共空間      私有空間



建物等の修景      庭瀬往来の美化等  
景観形成事業の推進      生垣等の設置

### 【地区の魅力】

西大寺観音院周辺では、吉井川の舟運で栄えた港町、そして西大寺観音院の門前町として賑わった往事の面影を色濃く残している。

西大寺観音院を中心に伝統的な町屋やレトロな雰囲気醸し出す擬洋風の建造物が混在して残っており、独特な雰囲気の街並み景観を形成している。

地区に沿って流れる吉井川や地区内の西川（鴨川用水）により地域のアメニティを高めている。

全国的に有名な「はだか祭り」が実施される西大寺観音院は、地区のシンボリック的存在である。

### 【地区の課題】

豊富な歴史的資源を保全・活用し、連続性や連携に配慮した景観形成を図ることが必要である。

歴史的街並みの保全により、西大寺観音院を中心とする往時の賑わいと門前町の再興を図る。

歴史的街並み景観を継承していくことが必要である。

空虚で賑わいのない空間を生み出し、街並み景観のマイナス要因となるシャッター通りの解消に向け、空店舗対策や地域による活発なまちづくり活動が望まれる。

### 【まちづくりの経緯・取組み】

住民主体によるまちづくりの取組みに向けて、町内会役員を中心とした『まちづくり協議会』を平成16年に設立している。

平成17年度より街なみ環境整備事業による地区施設等の整備、住宅の修景整備に取り組むこととしている。

### 【景観形成の目標と基本方向】

「テーマ：観音院（参道）から、歴史の息吹が広がるまちづくり」

伝統的建造物群を保全・活用しながら、周辺住居環境の一体的な景観形成を図るとともに、生活に密着した西川（鴨川用水）等をうまく活かすなど、歴史と文化を継承した景観づくりを目指す。

伝統的建造物の積極的な保全と景観誘導軸となる街路・用水の修景を行い、歴史性を基調とした魅力ある街なみ景観を形成する。

地区のシンボルである観音院と往時賑わいをみせたその周辺の歴史的街並みとの連続性を図るため、観音院参道（3路線）の美装化による演出を行う。

### 【地区の魅力となる景観資源】



和洋混在の歴史的街並み



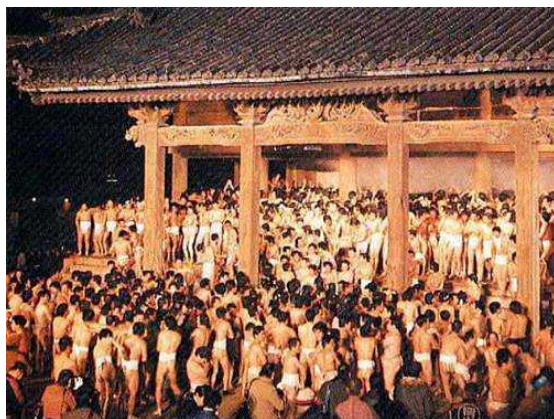
旧河本町の歴史的街並み



西川沿いの風情ある水辺景観



観音院の参道



観音院の会陽(はだか祭り)

【景観形成の取り組み】

住民・事業者

行政

<まちづくり協定>

- ・階数は原則2階建て(下屋造りは正面道路部分対象)
- ・勾配屋根、和瓦葺きもしくは同程度の仕上げ
- ・建築物の外壁は自然的な風合いの色調とする
- ・道路に面する玄関は引戸を原則
- ・駐車場は、まちなみに調和
- ・塀は、落ち着いた色彩の塀や生垣とする

<景観形成に係る活動>

- ・まちづくり協定の遵守
- ・景観資源等の維持・管理
- ・景観形成に関わるイベント開催等

<景観形成の事業>

- ・公共施設修景整備  
参道等美装化、西川沿道の修景整備
- ・伝統的建造物等に対する修景助成

【持続発展的な景観形成】

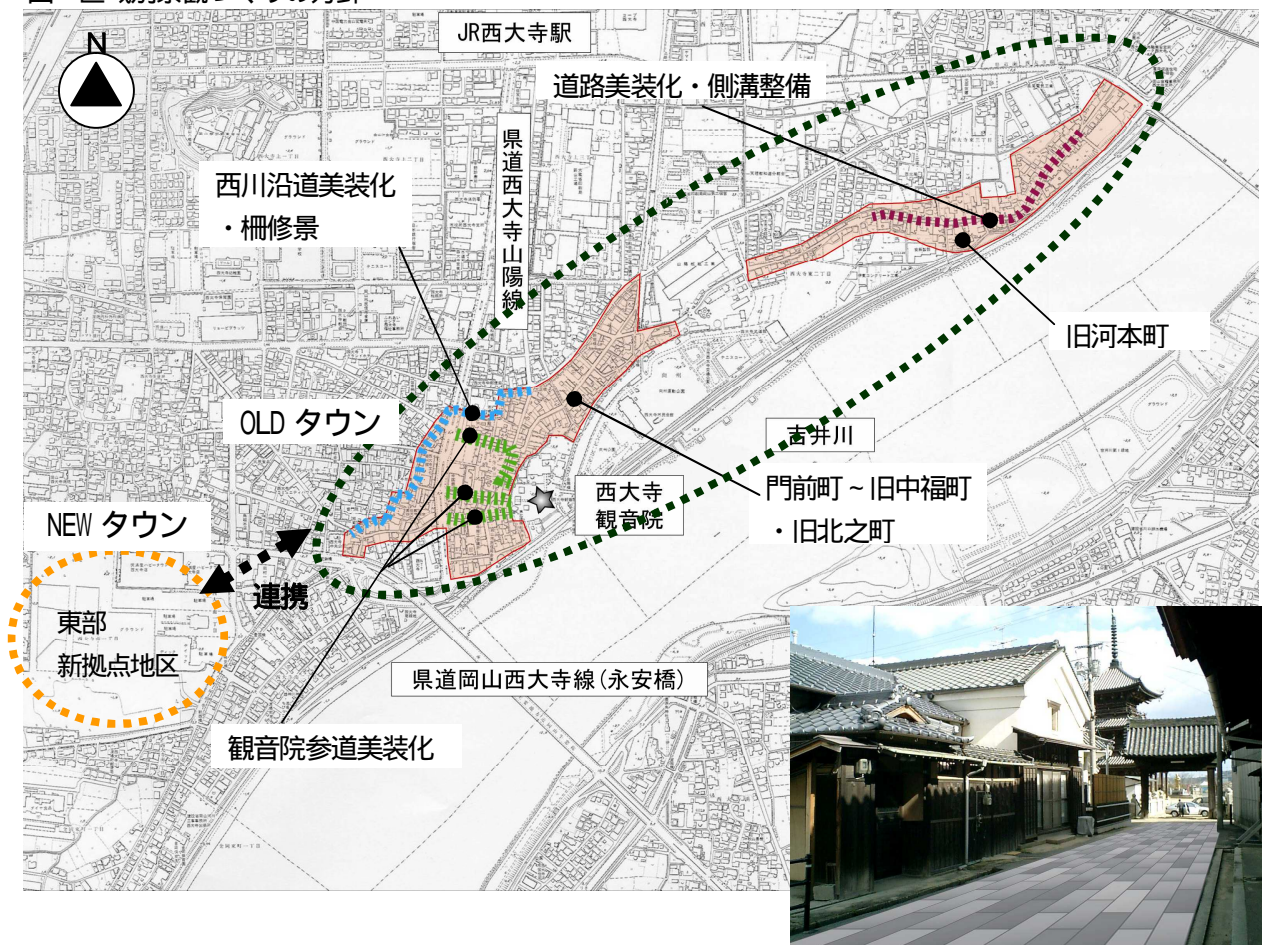
<景観法の活用>

景観計画による実効性ある景観形成の推進、景観法に基づく制度・施策の展開

<その他の制度の活用>

これまで市が行ってきた地区計画などの制度の活用

図 区域別景観づくりの方針



西大寺観音院参道整備イメージ

### 【地区の魅力】

旧津山街道沿いには、和風の伝統的建造物と、大正時代のレトロな雰囲気を醸し出す擬洋風の建造物が混在して残っており、独特な雰囲気の街並み景観を形成している。

都心の貴重な親水空間である旭川が地区に沿って流れており、地域のアメニティを高めている。

風情ある路地裏の空間には、戸建て住宅を主とした閑静な住宅地景観が形成されている。

岡山を代表する観光資源である後楽園への玄関口に位置し、また同地区は、画家国吉康雄の生誕地でもあり、周辺には他にも岡山城を始めとする多くの観光資源に恵まれている。

### 【地区の課題】

現存する歴史的資源を保全・活用し、それに合わせて周辺環境の一体的な景観形成を図ることが必要である。

後楽園、旭川側からの見え方に配慮した建築物、工作物等の景観形成を図ることが必要である。

地区だけでなく、周辺観光施設とも連携しながら、地域での一体的な取組を継続して進めることが必要である。

かつての渡し舟などの舟運の歴史を踏まえ、河川空間を活かすことが必要である。

### 【まちづくりの経緯・取組み】

岡山城築城400年にあわせ、町の賑わい創出を目的に、地元住民や建築家、工芸家などで協議会を立ち上げ、イベントの開催など活発に活動してきた。

出石町に関心のある地区内外の人達で構成するまちづくりグループも、地区のマップを作成するなど地区の魅力向上、発信のために活動している。

住民主体によるまちづくりの取組みに向けて、町内会役員や地元まちづくりグループを中心とした『まちづくり協議会』を平成16年に設立している。

平成17年度より街なみ環境整備事業による地区施設等の整備、住宅の修景整備に取り組むこととしている。

### 【景観形成の目標と基本方向】

「テーマ：後楽園門前町の歴史・文化を醸し出すまちづくり」

和洋の伝統的様式を残す建造物を保全・活用しながら、周辺住居環境の一体的な景観形成を図るとともに、後楽園、旭川などの資源もうまく活かした景観形成を進めることで、出会いや賑わい、歴史、文化の香りがあふれるまちづくりを目指す。

伝統的建造物を保全、活用し、連続性ある街並みを創出する<まちなみ景観ゾーン>

路地裏の落ち着いた居住空間を保全していく<ふれあい生活ゾーン>

質の高い都心居住を推進しながら、周囲の景観と調和させていく<都市型住宅ゾーン>

後楽園からの魅力的な旭川沿いの景観を形成する<リバーフロントゾーン>

【景観形成への取り組み】

住民・事業者

行政

<まちづくり協定>

- ・外壁の色彩は原色を避け、白、黒、茶色系を基調とする
- ・階数は原則3階建て（商業地域は除く）
- ・和風建築物は黒色系和瓦葺きか同程度の仕上げ、勾配屋根
- ・洋風建築物の屋根は、黒、茶色系とする
- ・屋外広告物の規模、デザインを整える
- ・室外機等の建築設備の修景
- ・季節が楽しめる植栽を積極的にする

<景観形成に係る活動>

- ・まちづくり協定の遵守
- ・景観資源等の維持・管理
- ・景観形成に関わるイベント開催等

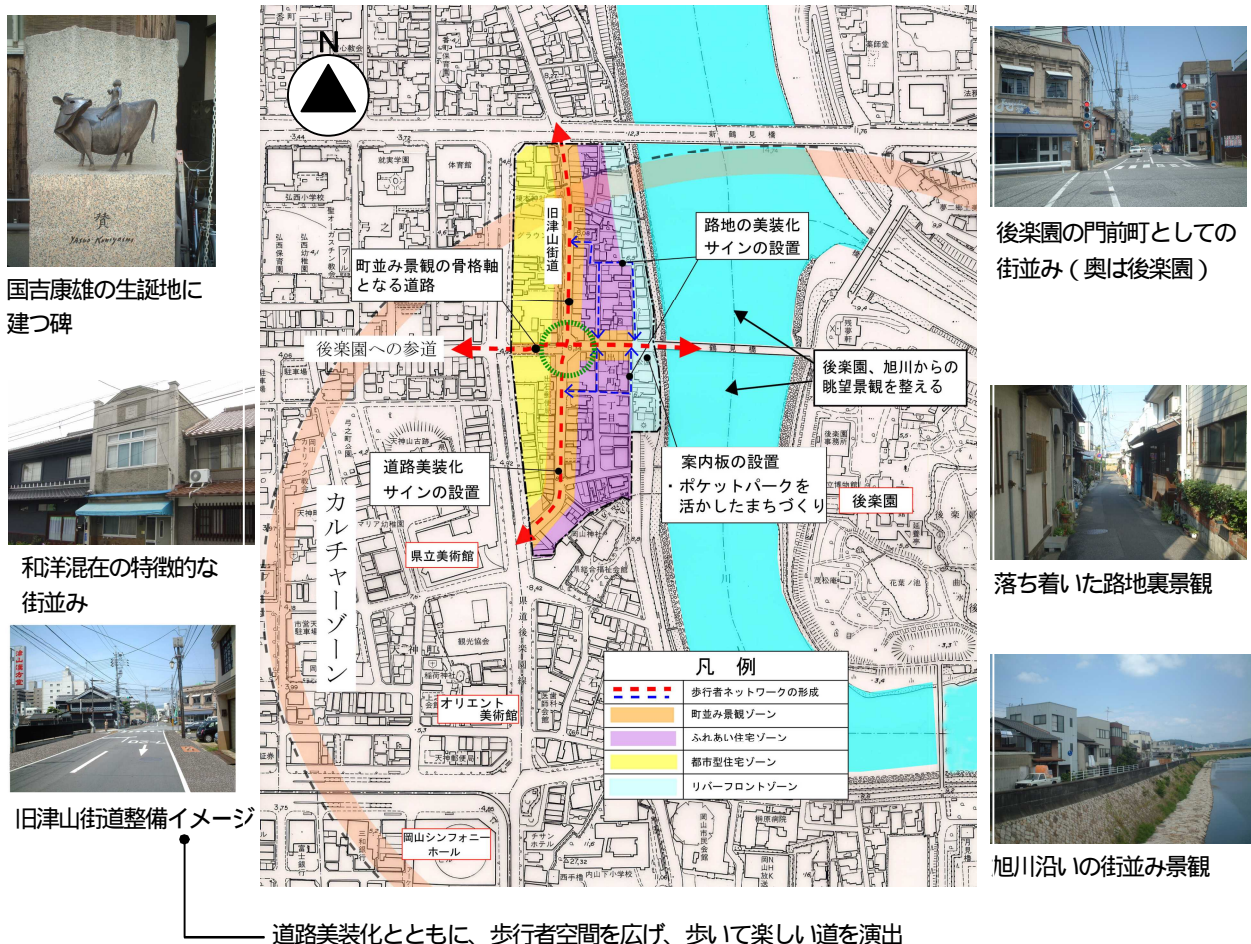
<事業による景観形成>

- ・旧津山街道、路地の美化
- ・案内板、サインの設置（絵タイル、方位）
- ・建物修景に関する助成

【持続発展的な景観形成】

- <景観法の活用> : 景観計画による実効性ある景観形成の推進、景観法に基づく制度・施策の展開
- <その他の制度の活用> : これまで市が行ってきた地区計画などの制度の活用
- <取組みの拡大> : 景観形成への取り組みを、カルチャーゾーンを中心とした周辺地域へと拡大

図 区域別景観づくりの方針





### 【地区の魅力】

造山古墳は岡山市の西端、総社市との境界近くに位置し、周辺を山に囲まれ、北東を流れる足守川までの間には広々とした美しい田園景観が広がっている。

造山古墳は、岡山県下で第一位、全国でも第四位の規模の前方後円墳で、周辺の陪塚（1-6号墳）とともに国史跡に指定されており、周辺にも多くの古墳、史跡が存在している。

まとまった規模の水田、背景となる山並みと造山古墳の雄大な姿と、周辺の伝統的な農家集落との一体的な景観は、独特の雰囲気を出しており、吉備路の特徴的な景観を形成している。

### 【地区の課題】

まとまりある田園を農業生産の場としてだけでなく、造山古墳周辺の景観を形成する景観資源として適切に保全する必要がある。

背景となる里山などの緑の景観を、造山古墳やまとまった農地と一体的に保全していく必要がある。造山古墳周辺の伝統的な農家集落の景観を保全するために、地区に相応しいスケール感や色彩に建築物等を整え、周辺との調和を図る必要がある。

観光地としての吉備路の中心的エリアであり、観光客向けのサイン、案内板、休憩施設、駐車施設等を周辺の景観に馴染ませ、視点場の整備など地区の魅力向上させる必要がある。

### 【景観づくりの目標】

吉備路地域の原風景とも言える造山古墳となだらかな山並み、田園風景が一体となった特徴ある地域景観を保全し、引き継いでいく。

吉備文化の象徴でもある造山古墳一帯の雄大なパノラマ景観を良好な状態で後世に伝える。

史跡のバッファゾーンとなる周辺の地域環境を保全するため、農家集落、まとまった農地及び背景となる里山を一体としてとらえ、総合的な景観の保全・形成を図る。

### 【地区の魅力となる景観資源】



手前にまとまった農地が広がり、古墳の背後を斜面緑地が取り囲み、吉備路の特徴的な景観を形成



手前に広がる田園景観



南側から見た造山古墳



造山古墳周辺の集落

【景観づくりの方針】

方 針	具体的な方向
1. 古墳と一体となったまとまりのある農業景観の保全を図る	<p>○古墳の立地する周辺地域の開発、建物、工作物等の形態、意匠の制限等により田園景観の保全形成を図る。</p> <p>○農業生産の場としての機能を維持し営農条件を確保するなどの方策を検討。</p> <p>・景観法による「景観農業振興地域整備計画」の活用などにより景観と調和のとれた農業的土地利用の推進、耕作放棄地対策を図る</p>
2. 歴史的景観の背景となる良好な緑地景観を保全、形成する	<p>○緑地保全等に関する規制・誘導手法の適用。</p> <p>○眺望景観を楽しむ視点場等の整備。</p>
3. 古墳と一体となった歴史的な農村集落の景観を保全、形成する	<p>○古墳と一体となり、景観を際立たせる周囲の農村集落の屋根形状、色彩、階数などの制限により、特徴ある街並みの保全形成を図る。</p>

図 景観づくりの方針

